

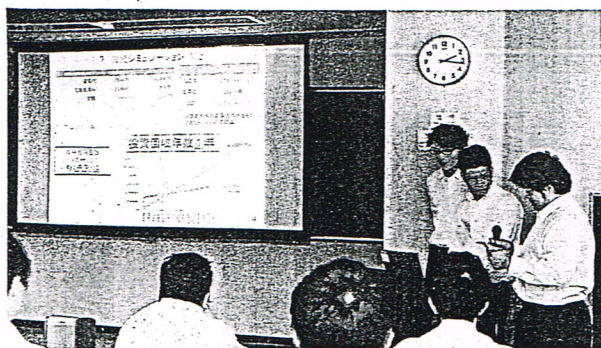
公共施設にLED照明を

尾張旭市の名古屋産業大の学生たちが十日、市職員に公共施設への発光ダイオード(LED)照明の導入を勧めるプレゼンテーションを同市立図書館でした。

学生らが環境ビジネスに取り組むため、名産大が設立した企業「名古屋産業大学グリーン・ソーシャルビジネス」でインターンシップ(就業体験)をしている二、三年生九人が発表した。

学生たちは、市の公共施設新池交流館ふらっとこと、市立図書館のCO₂濃度を調査。学校帰りの学生など利用者が増える夕方にCO₂濃

尾張旭 名産大生がプレゼン



LEDを導入した場合の電気料金などのシミュレーションをする名産大生たち＝尾張旭市立図書館で

度が上がることを指摘した。

さらに、照明をLED照明に替えた場合の年間電気料金や、年間CO₂排出量などを試算。LED照明機器は購入価格は高くなるが消費電力は抑えられる。通常の照明機器を使った場合と比べると、既に省エネ機器を導入しているからつとでは十六年間使わなければLED分の採算が取れないが、省エネ効果が低い照明を使っている図書館では、六年で採算が取れると説明した。

発表後は、市職員らから「CO₂濃度を下げるときのぐらいい換気すればいいか」「どのような前提で試算したのか」など次々に質問があった。

(堀井聡子)